学校番号	1009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	造形表現	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形表現では、絵画・彫刻・デザインなどにより、平面・立体表現の基礎的な能力を高める。また、様々な展覧会やコンクールに参加・応募し、自己の表現を深めていく。

2　学習の到達目標

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，作品ジャンルや自身の意図に応じて表現方法を追求し，個性を生かして創造的に表すことができるようにする。

造形的なよさや美しさ，独創的な表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり，自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を磨き，美術文化を尊重し，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

地域の美術行事にも積極的に参加し、自身の作品制作を発展させていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	くつのデッサン	【絵画】 ・くつデッサンについて ・制作 デッサンを学び、基本的な形の明暗を描き分け、奥行き、立体感を表現する	a: 基本的なデッサンを理解し、形や奥行きや立体感を表現できている。 b: くつの素材や形を理解し、鉛筆でそれぞれの特徴を描き分けるよう工夫して表現している。 c: 興味関心をもって、作品制作に主体的に取り組んでいる モチーフをよく観察し、その特徴を主体的に表現している。	作品	制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート
	高校展出品作品制作	【絵画】【デザイン】 【彫刻】【鑑賞】 ・高校展出品作品制作 ・相互鑑賞 ・プレゼンテーション(全体)	a: 自身の表現したい内容から出品部門を決定し、それぞれの意図に応じた画材・技法・構図などを考え制作する。 b: 自身の意図や思いを、技法や画材を効果的に表現している。 c: 興味関心をもって、作品制作に主体的に取り組んでいる	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子 鑑賞ワークシート
2学期・3学期	芸文祭出品作品制作	【絵画】【デザイン】 【彫刻】【鑑賞】 ・芸文祭コンクール展出品作品制作 ・相互鑑賞 ・プレゼンテーション(全体)	a: 自身の表現したい内容から出品部門を決定し、それぞれの意図に応じた画材や技法でアイデア・構図などを考えて制作する。 b: 自身の意図や思いを、技法や画材を効果的に表現している。 c: 興味関心をもって、作品制作に主体的に取り組んでいる	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度